

研究機関：広島大学

研究課題名	全身性エリテマトーデスの患者に対するミコフェノール酸モフェチル使用例の疫学研究
研究責任者名	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 杉山 英二
研究期間	平成 28 年 11 月(倫理委員会承認後)～平成 31 年 3 月
対象者	2009 年 1 月より 2018 年 3 月の間、広島大学病院リウマチ膠原病科で広島大学病院リウマチ膠原病科を受診した成人の全身性エリテマトーデスの患者で、ミコフェノール酸モフェチルを使用した患者。
意義・目的	ミコフェノール酸モフェチルはプリン体合成の de novo 経路を選択的に阻害し、リンパ球の増殖を抑制することで免疫抑制効果を発揮します。そのため海外では全身性エリテマトーデスの患者に対してミコフェノール酸モフェチルを寛解導入、あるいは維持目的に広く使用されています。しかし、本邦において全身性エリテマトーデスの患者においてミコフェノール酸モフェチルを寛解導入・維持目的に使用した患者に対する有効性の検討については未だ十分な情報の蓄積がなく、本研究によって、その効果を検討し今後の診療に役立つ可能性があると考えています。患者情報をできるだけ多く集めて、全身性エリテマトーデスの患者の有効な治療法の探求に貢献したいと考え、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、BMI、診断名、合併症、既往歴、治療内容、臨床症状、血液検査値(白血球数、白血球分画、ヘモグロビン、血小板数、総蛋白、アルブミン、Cre、BUN、AST、ALT、ALP、LDH、IgG、IgM、IgA、CRP、血沈、HLA)、画像検査(X線、CT、MRI、骨シンチ、PET-CT)、治療法、転帰です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5539 広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 教授 杉山 英二 広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 助教 吉田 雄介